

国「100トン放流実験で、施設も通水も支障がなかった」 党議員「計画の600トン放流で、対岸道路の法面崩落。 原因究明と対策完了まで、トンネルから放流は やめるべきだ。」

5月の連休の大雨で、天ヶ瀬ダムの貯水量が増えたため、国土交通省の天ヶ瀬ダム管理事務所は、8日の午後10時頃から、天ヶ瀬ダム左岸のトンネル式放流施設から翌朝まで毎秒600トンを放流したため、対岸の道路の法面が崩落したり、近くの白虹橋の橋台付近が洗掘されました。党議員は、この事故について6月定例会の一般質問で、宇治市の取組についてたずねました。(以下要旨)

【党議員】道路法面の崩落の原因は、何か。

【担当理事】トンネルの対岸で、計画高水位より2メートル高い位置まで打ち上げられた水が到達したためと聞いている。

【党議員】8日の18時から翌朝9時頃までの長時間、ダム本体のゲートを閉じたままトンネルからの放流をしたのはなぜか。

【担当理事】国の説明では、100トン程度の放流実績により、トンネル内部、ゲート設備等、トンネルの通水に支障がないことを確認している事前の検討結果がある。本体ゲートとトンネルからの放流の優先順位は定められていないと聞いている。

【党議員】100トンの放流では施設や通水に問

題がなかったとしても、計画の600トン放流したら対岸の道路法面が崩落している。トンネルからの水勢をなぜ制御できなかったのか。トンネル式放流設備の構造やダム操作に瑕疵があったのではないか。

【担当理事】次回の委員会で、被災要因の分析について議論され、その上で操作上の問題点の有無についても結論が出されるものと考えている。

【党議員】ダムは国の監理施設だが事故が起これば、市民に甚大な影響が出る。原因究明と対策完了までトンネルからの放流をやめるべきだ

【担当理事】引き続き不安解消のため、国と連携し対応する。

「新型コロナ」感染広がる 府は、医療体制の拡充を

「新型コロナ」が第2類から第5類になって、1ヶ月余り。京都府は、5月8日以降、「新型コロナ」感染者数の日々の全数把握から、指定した定点医療機関から週単位での報告にしたため、詳細はわかりません。

定点医療機関（府内119の指定した定点医療機関）から報告のあった感染者数を見てみると別表のとおり、山城北保健所管内では、約2倍になっています。

「新型コロナ」感染症報告者数
定点医療機関当たり(人)

		京都府	山城北
第19週	5/ 8~5/14	2.03	2.65
第20週	5/15~5/21	2.96	3.88
第21週	5/22~5/28	2.60	3.88
第22週	5/29~6/ 4	3.51	5.18
第23週	6/ 5~6/11	4.13	5.59
第24週	6/12~6/18	4.67	6.24

第6波から第8波で亡くなった方は1340人でした。医療逼迫で、感染しても入院できずに自宅で亡くなった方は57人、介護施設などで亡くなった方は221人と必要な医療が受けられずに亡くなっています。府は、医療体制の拡充を図るべきです。

市議員への
お声はこちら

